

モニタリングチェックシート（令和6年度）

＜評価＞

施設名	大泉図書館
指定管理者名	株式会社図書館流通センター
評価者	光が丘図書館長

優:特筆すべき実績・成果が認められるもの
 良:管理運営が良好と認められるもの
 要改善:一部において改善を要する点が見受けられるもの

評価項目および評価の視点		評価	評価理由・改善すべき点等
1 組織体制		良	・「指定管理における情報の保護および管理に関する特記事項」等を踏まえ、情報セキュリティ規程や運用マニュアル等を整備するなど、必要な対策を講じているか ・労働基準法、労働安全衛生法、育児・介護休業法等、労働環境に関する法令等を遵守しているか ・環境法令の遵守および環境負荷の低減に取り組んでいるか ・管理業務費の経理、収納した利用料金の取扱い、実費負担金等について、適正な処理および管理を行っているか
2 施設運営体制			
3 施設の維持管理・安全性への配慮			
4 効率的な管理運営			
5 施設特性に応じた管理運営		良	・「指定管理における情報の保護および管理に関する特記事項」等を踏まえた規程を整備し、適切に対応している。 ・管理業務費の経理については、帳簿等を整備し、執行状況を記録するなど、適正に行われている。
6 地域への貢献			
総合評価			
良			

- ・「指定管理における情報の保護および管理に関する特記事項」等を踏まえ、情報セキュリティ規程や運用マニュアル等を整備するなど、必要な対策を講じているか
- ・労働基準法、労働安全衛生法、育児・介護休業法等、労働環境に関する法令等を遵守しているか
- ・環境法令の遵守および環境負荷の低減に取り組んでいるか
- ・管理業務費の経理、収納した利用料金の取扱い、実費負担金等について、適正な処理および管理を行っているか

- ・現在のサービス水準を維持し、向上に向けた取組を進めているか
- ・計画的に職員研修を行うなど、職員の育成に努めているか
- ・利用者等への公平公正な対応・人権の配慮がなされているか
- ・苦情処理の規程と体制を整備し、苦情があった際に適切かつ迅速に対応しているか
- ・施設の利用状況は良好か
- ・利用者アンケート等の評価は良好か

- ・設備の保守点検、備品の管理は適切に行われているか
- ・緊急時のマニュアルを区と協議して整備し、緊急時には適切な措置を講じているか
- ・管理上の不具合や問題の区への報告が適切に行われているか
- ・損害保険等の加入状況は適切か

- ・効率的な人員配置がされているか
- ・業務の再委託における範囲は適切か
- ・事業計画書で提案されたとおり事業が実施されているか
- ・収支計画が提案どおり達成されたか
- ・その他効率的・効果的な施設運営に係る取組が行われているか

- ・区が求めた取組を適切に実施しているか
- ・事業者の提案に基づく取組が適切に行われているか
- ・その他、選定の際に設定した取組の評価

- ・区民雇用の促進を図っているか
- ・再委託する際に、区内事業者の活用に努めているか
- ・物品を調達する際に、区内業者からの調達に努めているか
- ・地域、関係機関、ボランティア等との協働または連携した取組が行われているか

・「指定管理における情報の保護および管理に関する特記事項」等を踏まえた規程を整備し、適切に対応している。
 ・管理業務費の経理については、帳簿等を整備し、執行状況を記録するなど、適正に行われている。

・はつらつセンター大泉との連携事業では、「はつらつこどもフェス」の会場でリサイクル本の頒布を行い、アウトリーチの強化に取り組んだ。
 ・司書等資格取得者の割合は60.6%で、区が求める配置要件5割を上回っており、利用者サービスの向上にスキルを活かしている。
 ・他の図書館でも実施しているAEDや消火器操作研修に加え、施設責任者が東京防災救急協会による救命講習を受講するなど、緊急時対応力の向上に努めている。
 ・利用者アンケートによる満足度は、85.7%と高い評価を得ている。

・設備の保守点検や備品管理が適切に行われ、必要な修繕等も実施している。
 ・緊急時のマニュアルを整備し、防災訓練を実施している。
 ・施設賠償責任保険に加入し、不測の事態に備えている。

・利用状況に応じた勤務シフトを作成し、効率的な職員配置に努めている。
 ・基本協定に基づく業務のうち、清掃等について再委託を行っており、その範囲は適切である。
 ・事業計画書で提案のあった事業について、概ね計画通り実施した。

・「これからの図書館構想」に基づく「練馬の文化を継承・発信する」の実現を目指し、「アニメプロジェクトin大泉 2024」の共催者として、大規模な地域イベントで重要な役割を担い、地域の映画製作会社に所属する映画監督による講演会を行うなど、練馬の「映像文化」という魅力発信に取り組んでいる。

・区内雇用に努めており、職員の72.7%が区民である。
 ・物品調達を含め、区内事業者の活用に努めている。
 ・保健相談所と協働し、乳幼児やその保護者を対象に関連本の紹介や食育相談等を実施するほか、「白子川源流・水辺の会」や「大泉学園デイサービスセンター」等の地域で活動する様々な団体と連携を深める取組を行っている。

(講評)

・項目全般について、区が求める基準を満たしている。図書館構想の実現に向けて、「アニメプロジェクトin大泉 2024」の共催者として講演会を行い、区の魅力発信に取り組んだ。利用者アンケートの評価結果も良好である。